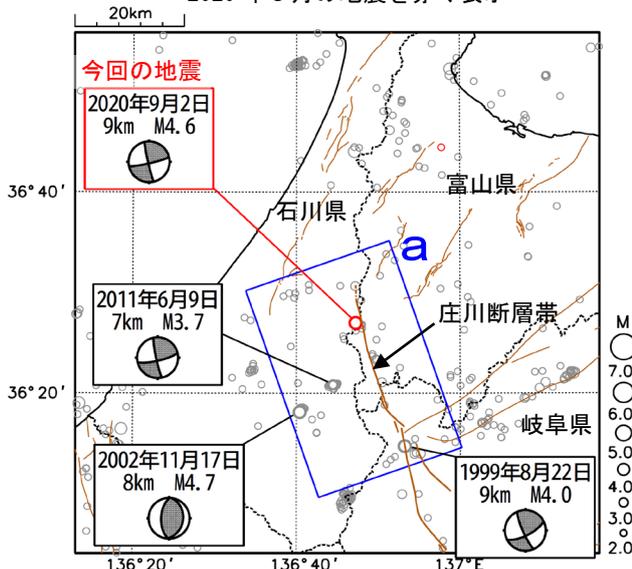


9月2日 石川県加賀地方の地震

情報発表に用いた震央地名は「富山県西部」である。

震央分布図

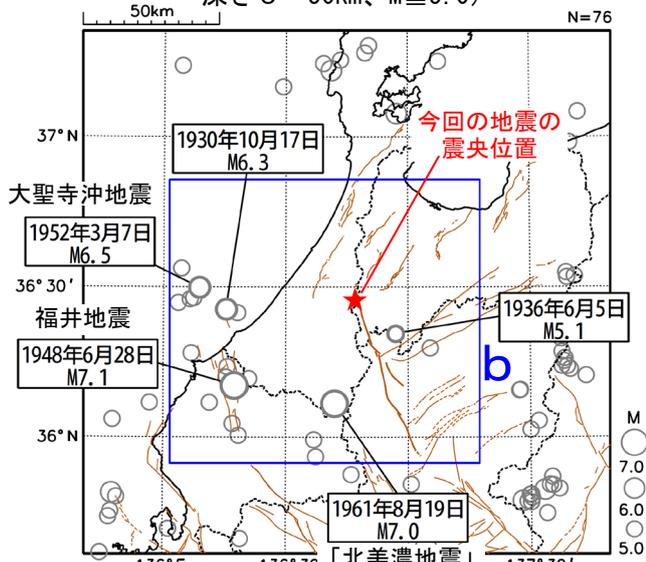
(1997年10月1日～2020年9月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2020年9月の地震を赤く表示



図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

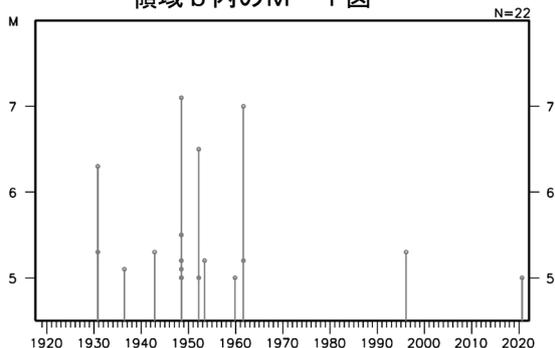
震央分布図

(1919年1月1日～2020年9月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$)



図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

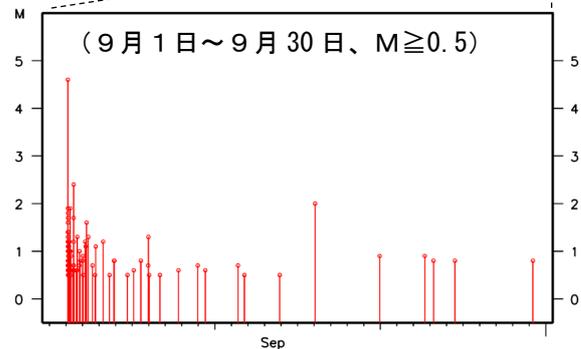
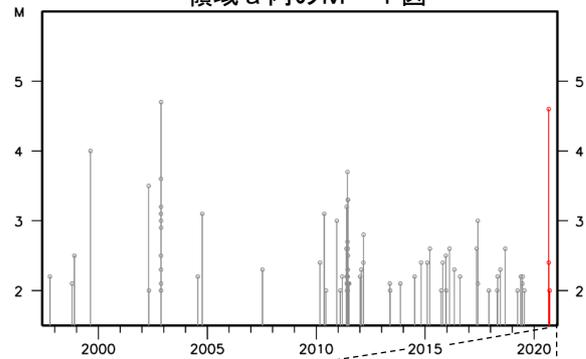
領域b内のM-T図



2020年9月2日02時49分に石川県加賀地方の深さ9kmでM4.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M4.0以上の地震がまれに発生している。2002年11月17日に発生したM4.7の地震（最大震度4）は、9日前の11月8日頃から始まった一連の地震活動の中で最大の規模の地震である。

領域a内のM-T図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震の被害地震が2回発生している。このうち、1948年6月28日に福井県嶺北で福井地震（M7.1、最大震度6）が発生し、北北西－南南東方向に断層（福井地震断層）を形成した。この地震により、死者3,769人、負傷者22,203人などの被害が生じ、福井平野では全壊率が100%に達する集落も多かったことから気象庁震度階級に7が追加されるきっかけとなった。また、1961年には「北美濃地震」が発生し、死者8人等の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。